

イノベーション・デザイン コース

Business Design for Social Innovation

企業の変革を推進するイノベーション・デザインリーダーの養成
～大きな社会課題に継続的に取り組むため、チームで事業を構想する～

「善い目的」を事業構想へ！
～ 社会課題を事業で解決 ～



~~~~~ 実施概要 ~~~~~

## 第10期生募集

- | 期間 | 2021年4月23日（金）～7月17日（土）
- | 日程 | 各回9：30～17：00 全16回（合宿2回含む）
- | 対象 | 中堅・若手リーダー
- | 会場 | 経営アカデミー：東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階  
※一部講義はオンラインで行います
- | 切 | 2021年4月19日（金）\*事前課題がありますので早目のお申し込みをお勧めします

経営アカデミー  
WEB サイト

## 時代の変化を捉え、行動を変える学びの場

経営アカデミーは、公益財団法人日本生産性本部の10周年記念事業として、1965年に創設された我が国初の本格的なビジネススクールの1つです。

その時々には時代の変化を捉え、意識を変え、行動を変える学びの場として、これまで15,000名を超える方々に受講いただきました。

修了者には経営アカデミー・マスターの称号が与えられ、産業界のリーダーとして多方面で活躍されています。

※修了者には、『経営アカデミー・マスター』の称号が付与されます。(全日本能率連盟登録資格称号第14号)

### 経営アカデミーが目指す経営人材とは

今日、企業には、大きく二つの挑戦が突きつけられています。

SDGsや様々な社会問題が、企業経営において中心的なテーマとなっています。

また、デジタル化の大きな流れは、企業の垣根を越えて飛躍的に生産性を高める機会とみなされています。

経営アカデミーは、このような大きな時代の変化の中で、

自ら課題を設定し、仮説を立て、多様なステークホルダーを巻き込みながら、

主体的に価値を創造していく行動力あるビジネスリーダーの養成を目指します。



「多視点で構想する力」「価値を実現する力」「主体的に革新する力」

この3つの力を兼ね備え、次代の経営を創っていくことのできるリーダーです。

## コースのねらい

1. 近未来の**社会問題**を解決できる形に**課題化**する
2. 思考の**バイアス**を確認し、課題を**再構成 (Re-Design)**する
3. 課題解決アイデアに**テクノロジー**を生かす
4. 事業としての**フック (魅力)**と**持続性 (収益力)**を**デザイン**する
5. **自分ごと**として考える

### 自ら変革する 強い想いを育てる



社会を変革する「**善い目的**」を持つ

### 本質を捉える 課題俯瞰力を鍛える



課題の本質を捉え、**バイアス**を特定し、再構成する

### 課題解決に向けた 事業構想力を養う



プロトタイプでアイデアを見える化し、課題の本質に迫る



- ・自分の人生をかけて、会社で何をしたいか、何ができるかを考えるようになりました。
- ・高い視座を持ち、本質直感を信じ、思考を素早く何回も繰り返すことの大切さを学んだ。
- ・バックキャストिंग思考の重要性、社内バイアスから脱却することの大切さに気づかされた。
- ・大義の下、高い志を持ってアイデアを構想し戦略に落とし込んでいけばイノベーションを起こせることを実感した。
- ・一人称でビジョンを明確に語り、相手の心に響かせること、そして、諦めないこと。
- ・ビジネスは社会課題の解決に通じることを学んだ。自分が変わらなければ社会も変わらないとの心構えができた。

# 顧問、コーディネーター、講師陣

## 顧問

## プログラムコーディネーター 兼 チームメンター



**新貝 康司**

日本たばこ産業(株)  
元代表取締役副社長



**小笠原 敦**

国立大学法人滋賀医科大学  
バイオ・デジタル・イノベーションセンター  
特任教授



**東 信和**

(株)アイデアポイント  
取締役 CIO



**水谷 世希**

(株)日立コンサルティング  
サービス&デジタルコンサルティング本部  
テクニカルディレクター



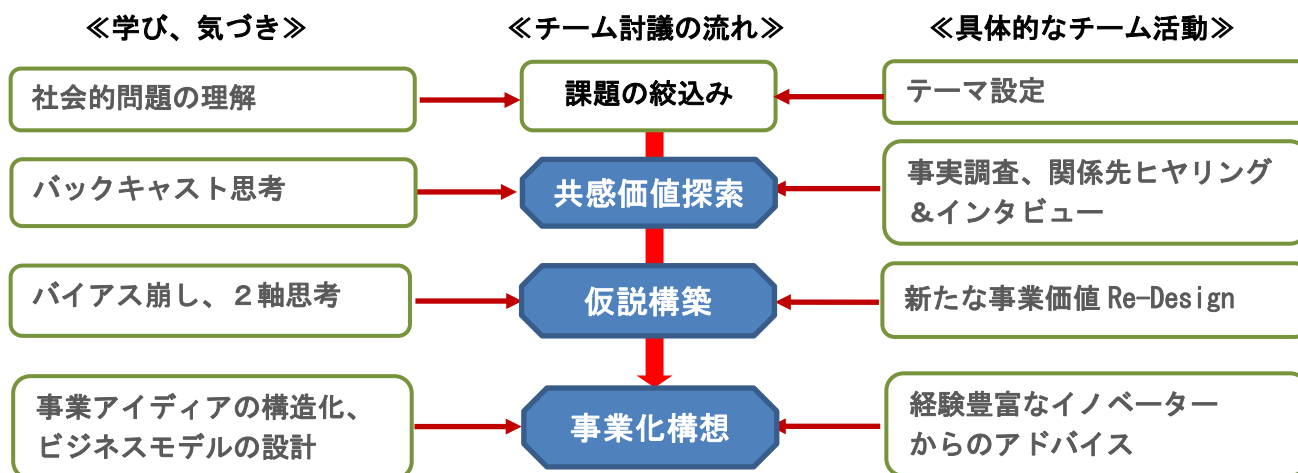
**中村 善貞**

富士フイルム(株)  
R&D 統括本部  
イノベーション アーキテクト

## これまでにご出講いただいた主な講師とテーマ

|             | ゲスト講師(所属・役職はご出講当時)              | テーマ                                                   |
|-------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 善い目的を持つ     | 石田 秀輝 東北大学 名誉教授                 | 人間活動の肥大化がもたらす大問題に警鐘を鳴らすと共に、バックキャスト思考でライフスタイルを提案       |
|             | 野中郁次郎 一橋大学 名誉教授                 | 世界の経営者が注目する知識創造理論(SECIモデル)と実践知リーダーシップの6つの原則           |
|             | 岸田 一隆 青山学院大学教授、科学コミュニケーター       | 文明的視座からのバックキャスト思考                                     |
|             | 丹羽宇一郎 元駐中国大使、元伊藤忠商事会長           | 人類と地球の大問題                                             |
| イノベーション思考法  | 濱口 秀司 デザイン会社 monogoto 代表        | USBの開発など120を超えるイノベーションを起こしてきた実践に基づく「イノベーションの作法」       |
|             | 東 信和 (株)アイデアポイント 取締役CIO         | JTたばこ事業部でイノベーション推進室を立ち上げ、アイデアを次々と創出してきた実践的イノベーションの思考法 |
|             | 前野 隆司 慶應義塾大学 SDM研究科 教授          | 現代社会が直面する諸問題をシステムとして俯瞰的に捉える幸せのメカニズム(幸せの4因子)           |
|             | 石黒 浩 大阪大学大学院基礎高学研究科 教授          | アンドロイドが当たり前前に社会に受け入れられ、定着していく社会は何が変わるのか、または変わらないのか    |
| デザイン視点      | 水谷 世希 (株)日立コンサルティング テクニカルディレクター | 想定される未来の諸問題からバックキャスト思考で課題を抽出するワークショップ                 |
|             | 原 研哉 (株)日本デザインセンター 代表取締役社長      | 日常を未知化し、Re-Design する思考実験                              |
|             | 各務 太郎 建築家、デザイナー                 | 「0⇒1」アイデア創出                                           |
|             | 村田 智明 (株)ハーズ実験デザイン研究所 代表        | ソーシャル・デザイン、行為のデザイン、バグ取り                               |
| 事業化と組織課題    | 小笠原 敦 国立大学法人滋賀医科大学 特任教授         | バリューチェーンに見る収益構造の変化は何を意味するか。サービスイノベーションの豊富な事例を通じた問題提起  |
|             | 岩田 徹 (株)アイデアポイント 代表取締役社長        | イノベーション・アイデアの事業化プロセス                                  |
|             | 三宅 孝之 (株)ドリームインキュベータ 代表取締役 COO  | ビジネス・プロデュースの5ステップ、如何にして連携するか、フック(事業の魅力)と回収エンジン        |
|             | 長沼 博之 (社法)ソーシャル・デザイン 代表理事       | 取引コストが限りなく通減していく時代のビジネスモデル                            |
|             | 新貝 康司 元日本たばこ産業(株)代表取締役副社長       | 大企業の両利き経営「深化と探索」                                      |
| イノベーション実践事例 | 中村 善貞 富士フイルム(株) イノベーションアーキテクト   | 富士フイルムの新規事業立ち上げ                                       |
|             | 出雲 充 (株)ユーグレナ 代表取締役社長           | ダボス会議で「ヤング・グローバル・リーダー」の一人に選ばれた出雲氏による、ミドリムシの事業化ストーリー   |
|             | 山崎 大祐 (株)マザーハウス 取締役副社長          | バン格拉ディッシュから世界に向けてブランド発信しているマザーハウスの企業経営の考え方            |
|             | 山崎 敦義 (株)TBM 代表取締役社長            | 水を使わない石灰石素材LIMEXの事業化ストーリー                             |
|             | 田中 秀樹 (株)エルブズ 代表取締役社長           | 社会課題に AI と地域通貨で取組む                                    |
|             | 山田眞次郎 (株)プランテックス 取締役会長          | 画期的な植物プラントで食糧問題に挑戦する                                  |

## プログラム概要



## 日程概要

2021年4月23日(金)～7月17日(土)

☆下記は案です。テーマの詳細は変更になる場合がございます。 \* 日程表中、WSはワークショップ

| No. | 月日                | 9:30                                                                         | 12:30 | 13:30                  | 17:00 |     |
|-----|-------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------|-------|-----|
| 1   | 2021年<br>4月23日(金) | 開講オリエンテーション                                                                  |       | 「課題図書の問題提起」「バックキャスト思考」 | 交流会   |     |
| 2   | 4月24日(土)          | II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする<br>II-1.「イノベーションの発想法(講義) / イノベーション発想法(ワークショップ)」 |       |                        |       |     |
| 3   | 5月14日(金)          | I 善い目的を持つ<br>I-3「チームの課題設定ワークショップ」                                            |       | テーマ研究①「テーマ設定討議」        | 交流会   |     |
| 4   | 5月15日(土)          | テーマ研究②「テーマ設定討議」                                                              |       | テーマ研究③「テーマ発表」とヒヤリング先検討 |       |     |
| 5   | 5月28日(金)          | II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする                                                 |       | テーマ研究④                 |       |     |
| 6   | 5月29日(土)          | III アイディアの事業化に向けて<br>III-1.「メガトレンドの読み方」                                      |       | テーマ研究⑤                 |       |     |
| 7   | 6月3日(木)           | IV イノベーションの実践<br>IV-1「AIを用いた社会課題解決」                                          |       | テーマ研究⑥                 |       |     |
| 8   | 6月4日(金)           | I 善い目的を持つ<br>I-4「大企業の両利き経営」                                                  |       | テーマ研究⑦                 |       |     |
| 9   | 6月11日(金)          | II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする<br>II-3.「テーマ深掘り」(WS) / テーマ研究⑧                   |       |                        |       | 交流会 |
| 10  | 6月12日(土)          | テーマ研究⑨ 中間発表準備                                                                |       | テーマ研究⑩「中間発表」           |       |     |
| 11  | 6月24日(木)          | IV イノベーションの実践<br>IV-2.「食の未来と革新的植物工場の事業化」                                     |       | テーマ研究⑪                 |       |     |
| 12  | 6月25日(金)          | II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする<br>II-4.「行為のデザイン」                               |       | テーマ研究⑫「アイデアのバグ取り」(WS)  |       |     |
| 13  | 7月8日(木)           | III アイディアの事業化に向けて<br>III-3.「他社を巻き込む魅力作りと収益化構想」                               |       | テーマ研究⑬                 |       |     |
| 14  | 7月9日(金)           | III アイディアの事業化に向けて<br>III-2「新規事業立ち上げ～イノベーションの実践」                              |       | テーマ研究⑭                 |       |     |
| 15  | 7月16日(金)          | IV イノベーションの実践<br>IV-4.「イノベーションと社内コミュニケーション&説得のプレゼン」                          |       | テーマ研究⑮                 |       |     |
| 16  | 7月17日(土)          | テーマ研究⑯「プレゼン準備」                                                               |       | 最終発表会 / 修了式            |       | 交流会 |

\* 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、講義をオンライン実施に変更する可能性があります。

## チーム活動「問題発見から始まる学びの場」

- ☆「夢のあるアイデア」を実現性のある提案にするために
  1. より大きな視点で、事業アイデアの未来の可能性を広げておく
  2. 将来を見据えて、有用性のあるテクノロジーをアイデアに入れ込む
- ☆ 関心テーマの背景を正しく理解するために
  1. 関係先へのヒヤリングを行う
  2. 事実、データを確認し、バイアスを特定し再構成する
  3. バックキャストとフォアキャストの両面からのアプローチを繰り返す

## 第9期生 各チームのテーマと概要

### Aチーム：「MUGEN∞バーガー ～海藻のチカラで Protein Safety～」

#### 〈問題認識〉

世界人口は1950年から2020年の70年間に50億人以上急増しました。さらに世界的な食文化の変化により、食肉需要が増加し、家畜動物の飼料穀物耕作地が不足しています。タンパク質危機とも言われる食糧危機が身近に迫っています。

#### 〈事業アイデア〉

大豆と同程度のタンパク質を含有し、ミネラル・ビタミン・抗酸化物質に恵まれ、うまみ成分のグルタミン酸が豊富な海藻をパテに仕立て、ベーコン味のバーガーを食肉に変わるタンパク源として打ち出します。海藻を陸上で養殖する技術を開発し、アジア、アフリカ地域へビジネス展開します。

### 《最優秀賞受賞》

### Bチーム：「すべての人に持続可能な運動を ～寝ながらロナウド～」

#### 〈問題認識〉

感染症パンデミックや地球温暖化は身体を動かす機会を奪いつつあります。肥満や筋力低下の誘因となり、生活習慣病リスクを増加させます。アメリカ人の1/3は肥満であり、日本の医科診療費の1/3は生活習慣病で、その額は10兆円に及びます。

#### 〈事業アイデア〉

寝ている間に「筋力をつける」ことが狙いです。EMS(Electrical Muscle Stimulation)機器を装着したスマートシャツを提案します。スマートシャツを着て寝るだけで、ノンレム睡眠時の本人も気づかない内に身体が無理なく運動するよう設計されています。

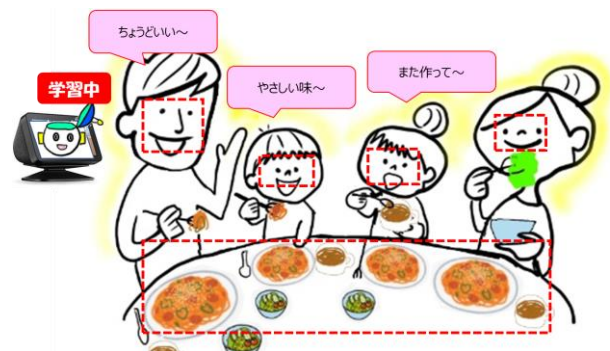
### Cチーム：「家庭の食材手配から調理までを一括管理 ～食品ロス「ゼロ」への革命～」

#### 〈問題認識〉

日本の食品ロスは612万トン。これは国連WFPが行った国際食料援助の1.5倍に上ります。日本の食品ロスのうち46%は家庭から出ています。事業者は様々な対策ととっていますが、家庭の食品ロスは放置されたままです。

#### 〈事業アイデア〉

解決策は、買い過ぎない、食べ残さない、可食部を捨てないことへの対策です。そのために「食材の在庫管理、食の嗜好管理、そして食材のフル活用」を一手に引き受けるサービスを提案します



### Dチーム：「Quality of 2nd Life ～第2の人生も食を通じてみんなで元気に楽しく～」

#### 〈問題認識〉

2050年、日本は65歳以上の高齢者が4割を占めると予測されています。さらに高齢者の4人に一人は独居の可能性があります。独居高齢者は会話もなく、食も方よりがちで、健康を害するリスクが高くなります。

#### 〈事業アイデア〉

「しあわせんしんぐ食堂」を提案します。この食堂では、栄養「健康管理AIロボット」が活躍します。体と心のセンシングデータから栄養バランスやその日の体調に合わせたメニューを提案します。独居高齢者の健康データは家族の安心にもつながります。

## これまでの参加企業、参加者データ(ご参考: \*社名五十音順、複数名参加の企業が多数あります。)

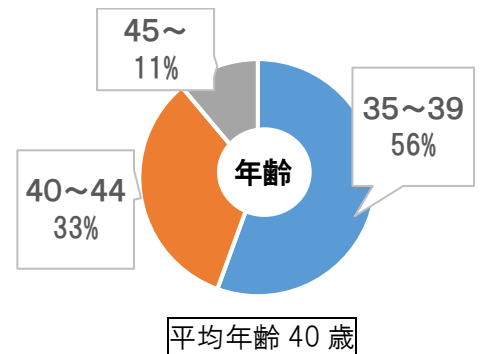
アサヒグループホールディングス、池上長寿園、出光興産、SAPジャパン、NTTドコモ、花王、カンダホールディングス、クボタ、ジーエルサイエンス、TOTO、JXTGホールディングス、高田香料、タダノ、凸版印刷、日清オイリオグループ、日東電工、日本たばこ産業、日本プラスト、日立製作所、日立ハイテクノロジーズ、藤倉化成、富士ソフト、富士フイルム、ブリヂストン、ヤマト運輸、雪印メグミルク、ライオン、リコー

## 参加者の声: 受講による意識の変化、行動変容(第9期生 受講アンケートより抜粋)

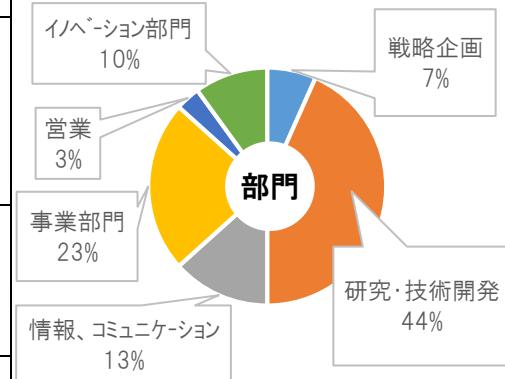
受講後のアンケートでは、考え方、意識、行動が「大きく変わった」、「ある程度変わった」と回答いただいた方が90%に及びました。

|                   |                                                                                                                                                                    |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日立ハイテク MJさん       | イノベーションの考え方が、既存事業のマネジメント業務とは全く異なるものだということが実感できた。                                                                                                                   |
| 日立製作所 AJさん        | バックキャストの思考方法は常に考えるようになった。自分の仕事でも、この仕事が社会課題とどう結びつき、その社会課題を解決するための手順を踏む計画になっているのか、意識して行動したい。                                                                         |
| ライオン MSさん         | 自身の現在の業務について、もう一度考え直す切っ掛けになった。(なぜやるのか? どういう社会課題を解決するのか?) 自身の専門とは何か? も考えるようになりました。講義を通して、学生の時には感じていた自分の専門がほかの分野に例えられる感覚を忘れていたことに気づかされ、危機に感じています。                    |
| リコー UMさん          | 社会課題に気を配り、日頃の行動(レジ袋削減、ごみ削減)が変化した。日頃の業務においても、社会課題とのつながりを示すようになった。                                                                                                   |
| 花王 HMさん           | 既存事業においても、大儀を考えるようになりました。自分の業務についても社会課題も踏まえて、この商品で社会がどうかかわるか、というところまで発想を広げるようになりました。考え方のフレームワークや、議論での発散、収束の各局面の意識、異分野との融合、バイアスくずし、関連分野の方々へのヒヤリングなどは、業務の中で実践していきたい。 |
| 日立製作所 KDさん        | エビデンスの取得方法。専門家や外部の方からの知見を取り入れることで説得力が格段に上がることを実感しました。                                                                                                              |
| 日本たばこ産業 (JT) MTさん | 自分がこれから作り出すアイデア・課題をもう一段上の視点から見られるようになったことが大きな収穫だと思います。これをやると「会社」だけがいいのか? それとも「社会」全体を変えることができるのか? そのために自分はこの課題をどう捉えて、アイデアを創出すべきなのかを考えられるようになったことは非常に大きな収穫だと思います。    |
| 花王 SMさん           | 部署のミーティング等でも、より想いをぶつける、越境する行動をとるようになった。社会課題とその解決の取り組みに対する関心が高まり、自身の業務とも関連付けられないか考えるようになった。本気になって知恵を絞れば、何かしらの突破口を開けると思うようになった。                                      |
| 雪印メグミルク OAさん      | ・社会課題はビジネスの手法を用いるからこそ、解決できるという考え方<br>・大企業ならではのイノベーションの起こし方があること(探索と深化)<br>・新しいアイデアは、良質なコミュニケーションによって生み出されるものだということ                                                 |

### 参加者データ(過去3年平均)



### 参加者部門構成



## お申込み要領

### 【お申込み手順】

- 01 お問合せ WEB ページ(<https://www.k-academy.jp/>)のコース案内に「申込」欄がございます。
- 02 申込受領後、確認のご連絡を申し上げます。

### 【参加費】(2021年度)

|      |                      |
|------|----------------------|
| 賛助会員 | 67万円(10%税込参加費73.7万円) |
| 一般   | 77万円(10%税込参加費84.7万円) |

\* 参加費に含まれるもの  
合宿費(1泊2日、2回)、課題図書費(参考図書を除く)

# 経営アカデミー コース一覧

経営アカデミーとは、1965年に産業界の発意と学界の協力により創設されたわが国で最初の本格的な経営大学院です。当アカデミーを修了された方々は15,000名を超え、産業界のリーダーとして活躍しています。

## マネジメント・リーダー養成

| コース名            | 実施期間            | 主な対象者                      | コースの目的                                 | 参加費（）内10%税込        |                    |
|-----------------|-----------------|----------------------------|----------------------------------------|--------------------|--------------------|
|                 |                 |                            |                                        | 賛助会員               | 一般                 |
| トップマネジメント・コース   | 2021年7月～12月     | 取締役、執行役員、事業部長、部長           | 戦略思考に基づいたビジョンを語り、先頭に立って実践できるトップリーダーの養成 | 120万円<br>(132万円)   | 130万円<br>(143万円)   |
| 経営戦略コース         | 2021年6月～2022年3月 | 部長、課長(全職種)                 | 自社ビジネスのあり方を見直し、次の戦略を深く多面的に考えるリーダーの養成   | 111万円<br>(122.1万円) | 121万円<br>(133.1万円) |
| 技術経営コース         | 2021年6月～2022年2月 | 技術部門、研究・開発部門の部長・課長・リーダー    | CTO目線で技術を価値化するリーダーの養成                  | 111万円<br>(122.1万円) | 121万円<br>(133.1万円) |
| 組織変革とリーダーシップコース | 2021年5月～2022年2月 | 部・課・プロジェクトチーム等の組織運営を行うリーダー | 人・組織・戦略の視点で、組織変革を推進できる次世代リーダーの養成       | 98万円<br>(107.8万円)  | 108万円<br>(118.8万円) |

## プロフェッショナル・リーダー養成

| コース名          | 実施期間            | 主な対象者                                 | コースの目的                                           | 参加費（）内10%税込       |                    |
|---------------|-----------------|---------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------|--------------------|
|               |                 |                                       |                                                  | 賛助会員              | 一般                 |
| マーケティング戦略コース  | 2021年6月～2022年2月 | マーケティング・営業部門の部長、課長、リーダー、戦略スタッフ        | 先見性・革新性・戦略性で成熟市場を打ち破るマーケターの養成                    | 98万円<br>(107.8万円) | 108万円<br>(118.8万円) |
| 生産革新マネジメントコース | 2021年5月～2022年2月 | 生産関連部門(製造、生産管理、品質、調達など)のリーダー、マネジャー    | 現場と経営の観点で、ありたい姿を描き「強い工場」をつくる人材の養成                | 98万円<br>(107.8万円) | 108万円<br>(118.8万円) |
| 人事革新コース       | 2021年6月～2022年2月 | 人事・人材開発部門のマネジャー、リーダー、戦略スタッフ           | 人材マネジメントに革新を起し、世界で競争力のある強い組織創りをリードする戦略的人事リーダーの養成 | 98万円<br>(107.8万円) | 108万円<br>(118.8万円) |
| 経営財務コース       | 2021年6月～12月     | 財務、経理、IR、リスクマネジメント、企画・管理部門のマネジャー・リーダー | 企業価値の向上をリードする、CFO候補の養成                           | 98万円<br>(107.8万円) | 108万円<br>(118.8万円) |

## イノベーション・リーダー養成

| コース名            | 実施期間        | 主な対象者                           | コースの目的                           | 参加費（）内10%税込        |                    |
|-----------------|-------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------------|--------------------|
|                 |             |                                 |                                  | 賛助会員               | 一般                 |
| 事業変革イノベーションコース  | 2021年6月～12月 | 事業責任者、企画・グループ管理・監査部門の責任者、戦略スタッフ | トップや現場を巻き込みながら変革に邁進する中核リーダーの養成   | 125万円<br>(137.5万円) | 135万円<br>(148.5万円) |
| イノベーション・デザインコース | 2021年4月～7月  | 中堅・若手リーダー                       | 企業の実力で未来を変革するイノベーション・デザインリーダーの養成 | 67万円<br>(73.7万円)   | 77万円<br>(84.7万円)   |

[国内合宿費] 1回当たり3～7万円(経営財務コースは合宿費のほかにビジネスゲーム使用料1万円程度)

[海外調査費] トップマネジメント・コース 40万円程度、人事革新コース、生産革新マネジメントコース 30～35万円程度

※参加費に含まれないもの:丸の内教室通学・合宿・企業見学・インタビュー等の交通費、グループ研究の図書・資料代、その他、個別的・追加的に発生する費用

※参加費、その他費用は2021年度の予定金額

お申込み・お問い合わせ先



公益財団法人日本生産性本部 経営アカデミー

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階

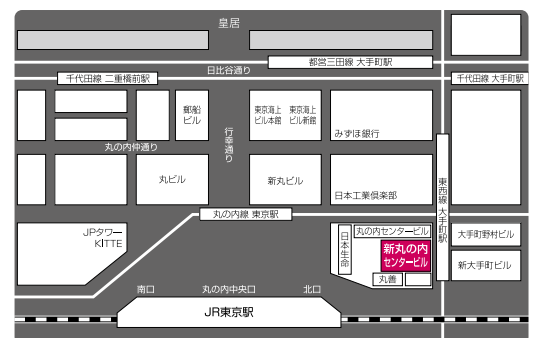
[Tel] 03-5221-8455 [Fax] 03-5221-8479

[Mail] academy\_info@jpc-net.jp [Web] https://k-academy.jp/

お申し込みはこちら [WEBサイト] <https://k-academy.jp/>

賛助会員制度につきましては、下記までお気軽にお問い合わせください。

[会員サービスセンター] 03-3511-4026



東京駅丸の内北口より徒歩3分、地下鉄大手町駅B2b出口よりすぐ